

## 単元名 「横画」の筆使い

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 「横画」の筆使い(始筆・送筆・終筆)について理解するとともに、筆圧に注意し、穂先の向きに気を付けて「横画」を書くことができる。  
 (2) 「横画」の筆使いに気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。  
 (3) 「横画」の筆使いに気を付けて、字形を整えて書こうとする。

## 標準的な展開例

03020102\_001

【教材名】『二』（毛筆）（P. 11～P. 13）

【準備等】水書板，電子黒板，練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1～2 「横画」の筆使いに気を付けて、『二』を書く。 ★「横画」の筆使い(筆の運び方)に気を付けて書こう ○用具の扱い方や姿勢について確認する。  ○硬筆と毛筆で『二』を試し書きし，課題をつかむ。  ○試し書きと教材文字を比較して，「穂先の向き」と「穂先の通るところ」について気付いたことを話し合う。   ○「始筆」「送筆」「終筆」と「穂先の向き」を理解する  ○練習する。   ○まとめ書きをする。 ○試し書きと比べて自己評価する。  ○硬筆でまとめ書きをする。 ○「横画」のある漢字を探して書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆の用具の扱いや筆使いに関心をもたせ，筆で漢字を書くことを支援していく。</li> <li>・教科書P. 6～P. 7の姿勢図を使って確認させる。</li> <li>・硬筆は教科書P. 13の「ためし書き」の欄を活用させる。</li> <li>・毛筆は教科書を見ないで書くようにする。</li> <li>・始筆は，筆を左上からゆっくり置いて，一度止めること，送筆は，穂先の向きを変えずに同じ筆圧で筆を運ぶことを確認させる。</li> <li>・終筆は筆を止めてから，押し返すように左上へゆっくり上げることも確認させる。</li> <li>・穂先の向きや穂先がどこを通っているかを確かめながら書くことを知らせる。</li> <li>・教科書P. 13「たしかめよう」の図を活用させる。</li> </ul> <p>【評】話し合いの様子や作品を通して，始筆・送筆・終筆や「横画」の筆使いに対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「始筆」「送筆」「終筆」のリズムをつかむために，「とん」「すうっ」「びたっ」と唱えながら，一緒に空書する。</li> <li>・常に穂先の角度は同じであることや全体的にやや右上がりに書くと文字が整って見えることを理解させる。</li> </ul> <p>【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさや位置についての評価は求めないようにする。</li> </ul> <p>【評】作品や自己評価を通して，「横画」の筆使いと自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P. 13の「まとめ書き」の欄を活用させる。</li> <li>・教科書P. 57～P. 60の「漢字表」から探して書かせる。児童の意欲を喚起するために，既習の漢字でなくてもよいこととする。</li> </ul>

【 備 考 】